

横浜型小中一貫教育 PR ちらし

南希中ブロック

南希望が丘中学校・希望ヶ丘小学校・善部小学校

本ブロックでは平成 22・23 年度文部科学省国立教育政策研究所小中一貫教育の研究指定を受け、研究・実践に取り組んできました。今年度も地域との協働を大切にしながら取組を進めています。

☆南希中ブロック小中一貫教育スローガン

「行きたい学校・帰りたい家庭・住みたいまち 9年間の連続した子育てのために！」

☆ブロックで育てたい「めざす子ども像」

自分をとりまく人々と積極的にかかわりを持ち、その中で自ら成長する子ども

☆今年度の研究テーマ

「めざす子ども像」を育む継続した9年間での支援の在り方

～自分をとりまく人々と積極的にかかわりを持ち、その中で自ら成長する子どもの育成～

平成 26 年度の取組



授業の様子



1. 小中合同授業研究会

今年度は、9年間の授業のなかで意図的に、児童生徒が多くの人々とかかわりを持ち、積極的にコミュニケーションをとることができるように支援していくことを本ブロックの研究の柱と考えました。自分の考えを出し合い、互いの考えを認め合うことができる授業、様々な生き方や考え方を聞いたり学んだりすることができる授業づくりについて、3校で研究を深めていきたいと考えました。年間3回(各校1回)の合同授業研究会を通して、めざす子ども像である「自分をとりまく人々と積極的にかかわりを持ち、そのなかで自らを成長する子ども」を育むことができるように小中で継続して支援していきたいと考えています。



研究会の様子



優しく教えてくれてうれし

2. 部活動体験

26年度の児童生徒交流は、昨年度に引き続き、小学6年生を対象にした部活動体験を行いました。6年生にとっては、先生や先輩とふれ合うことによって、中学進学への不安が期待へと変わったようです。中学1・2年生が丁寧に教えたり、積極的に話しかけたりして6年生をよくリードしようとしていました。小学生にとって、優しくリードしてくれた中学生の姿は、とても頼もしく感じられたようです。



中学になったら〇〇部に入

